

# 市町村合併を考える

本年度の「未来を拓く都留まちづくり会議」は、昨年度に引き続き市町村合併をテーマに、2月7日から市内9地区で開催いたしました。各会場におきましては、国や都道府県、また、市町村の動向や現況などについて、できる限りの情報やデータを提供し、ご議論をいただきました。

今回は、各会場での主なご意見を紹介します。

- 継続審議になっている町村に期限をつけておかないと引きずられてしまう。期限を付けたらどうか。
- 合併対象となつている町村もかなりの借金がある。都留市の負担にならないようにしてもらいたい。
- 合併は簡単に言えば、嫁探しと同じなので、市債の面から考えれば、西桂町と合併したほうが良いと思う。
- 秋山村、西桂町の態度は不明瞭なので、4市町村の合併の枠組にこだわることなく、できる所から、合併を推進してもらいたい。
- 4市町村の住民による住民発議に基づくものなので、法定協議会設置に向けて、積極的に取り組んでももらいたい。
- 東桂と西桂町は、昔からかわりが深いので、そのことをアピールしたらどうか。
- 4市町村で合併した場合のまちづくりの共通点、水資源があると思う。これを地域活性化に活用したらどうか。そのために都留市からアピールしてほしい。
- 都留市、西桂町、道志村、秋山村で先に合併を進め、その後、大月市を含め、範囲を広げたらどうか。
- 都留市の場合は、上野原町はともかく大月市が良いと思う。ゴミ処理も一緒にやっているの、そのくらい考えたほうが効率が良いのではないか。
- 4市町村での法定協議会設置の件がご破産になった場合、相手が大月市ということになれば、抵抗感があるので、住民の意志を問うような機会を設けてほしい。
- 都留市の場合、合併しないと潰れてしまうのか。合併特例債のために合併をするような印象を受けるが、今の都留市のままでいいと思う。



以上、各地区でのご意見を紹介しましたが、住民発議によって示された合併対象市町村との法定合併協議会の設置などを含め、市町村合併について、前向きな意見が多く寄せられました。

住民発議に基づく都留市、西桂町、秋山村及び道志村を合併対象市町村とする合併協議会の設置につきましては、都留市議会、道志村議会、西桂町議会では議決されましたが、秋山村議会におきましては否決となりましたので、この枠での議論は白紙になります。

市町村合併は、都留市の将来のあり方や、私たちの生活に影響を及ぼすものであるため市民のみなさんと一緒に考え、理解を深めていきましょう。

問合先 政策形成課